



引戸錠HA型 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 施工にあたっては、引戸門扉の取付説明書も合わせて参照してください。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

もくじ

梱包明細	1
納まり図と施工前の確認	2
1. 錠の取付け	3
1-1. 錠受けの取付け	3
1-2. 錠ケースの取付け	3
1-3. ハンドルの取付け	4
施工代理店様、販売店様へのお願い	4

⚠注意

- 各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締付けないでください。
破損の原因となります。

⚠注意

施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。



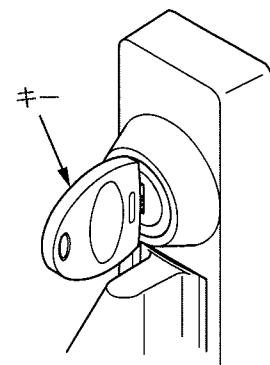
引戸門扉の取付説明書を合わせて参照してください。

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無い確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称	梱包内容
引戸錠 HA 型	片引き 外部側ハンドル (1)・内部側ハンドル (1) 引戸用錠ケース (1)・引戸用錠受け (1)・M5 × 45 丸皿小ネジ (2) φ 4 × 10 トラストッピン 3 種 (2)・キー (3)・M4 × 10 トラス小ネジ (2) 取付説明書 [ME-1746] (1)
	両引き 外部側ハンドル (1)・内部側ハンドル (1)・外部側固定ハンドル (1) 内部固定側ハンドル (1) 引戸用錠ケース (1)・引戸用錠受け (1)・M5 × 45 丸皿小ネジ (4) φ 4 × 10 トラストッピン 3 種 (2)・キー (3)・M4 × 10 トラス小ネジ (2) 取付説明書 [ME-1746] (1)
	開き戸付き 外部側ハンドル (1)・内部側ハンドル (1)・外部側固定ハンドル (1) 内部固定側ハンドル (1) 開き戸用錠ケース (1)・開き戸用錠受け (2)・M5 × 45 丸皿小ネジ (4) φ 4 × 10 トラストッピン 3 種 (2)・キー (3)・M4 × 10 トラス小ネジ (4) 取付説明書 [ME-1746] (1)
	引き違い 外部側ハンドル (2)・内部側ハンドル (2) 引戸用錠ケース (2)・引戸用錠受け (2)・M5 × 45 丸皿小ネジ (4) φ 4 × 10 トラストッピン 3 種 (4)・キー (6)・M4 × 10 トラス小ネジ (4) 取付説明書 [ME-1746] (1)



ME1746-001

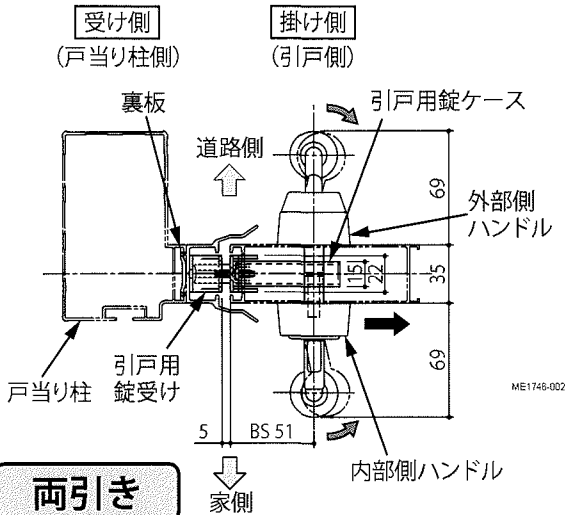
納まり図と施工前の確認

●施工前に必ず確認してください。

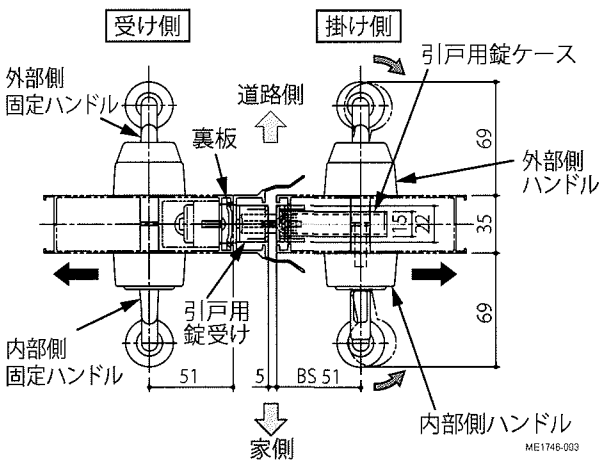
納まり図

- 内部側・外部側を確認してください。
- 受け側・掛け側を確認してください。

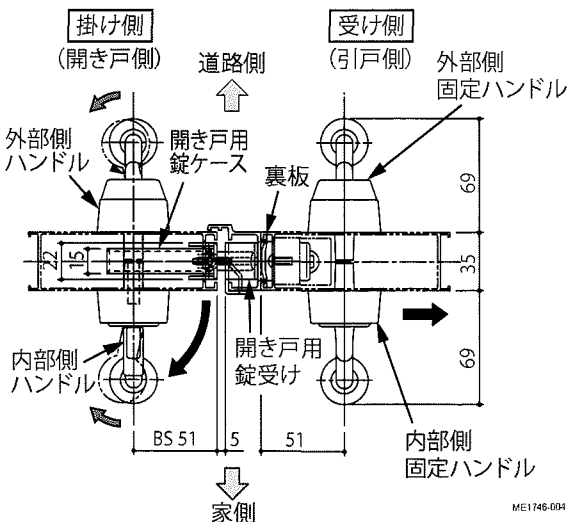
片引き・引き違い



両引き



開き戸付き



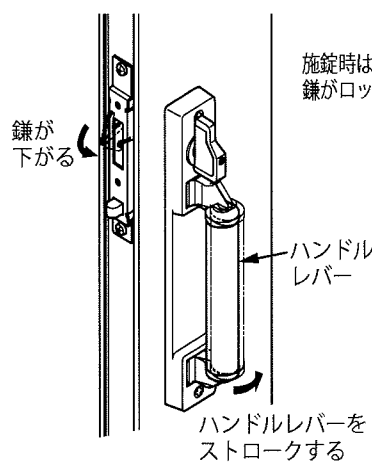
施工前の確認

サムターンの向き (施錠時)

- 開錠時はハンドルレバーの操作で鎌を下げて引戸を開閉します。
- 施錠時はサムターンが横向きになります。ハンドルレバーが固定され、鎌がロックされます。

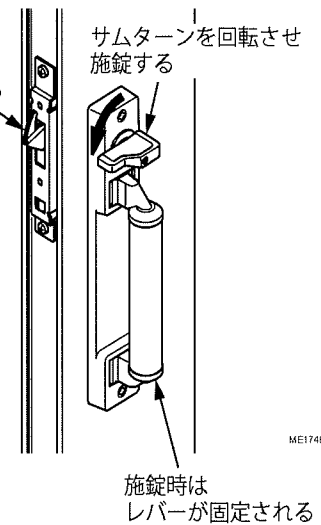
開錠時

※レバーの操作で鎌を下げて引戸を開閉します。



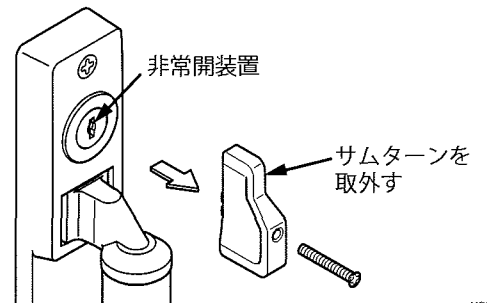
施錠時

※サムターンが横向きになります。



非常開装置について

- サムターンを取外すと、非常開装置となります。
- 施錠・解錠操作が簡単にできず、外側から手を伸ばして解錠することを制約します。
- ※コイン等で回転させて施錠・解錠することができます。
- ※非常開装置は、部外者の解錠等操作を完全には防止することはできません。

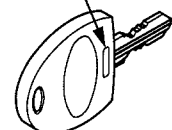


キー No. について

- キーを紛失された場合は、キー No. と商品名をお買い求めの販売店・当社営業所まで依頼してください。
- キー No. は数字 4 桁でキーに刻印していますので、控えておいてください。

キー No.

キー No. (数字 4 桁)



1

錠の取付け

1-1 錠受けの取付け



受け側となる柱または引戸に、錠受けを取付けます。

①錠受けを受け側に取付けてください。

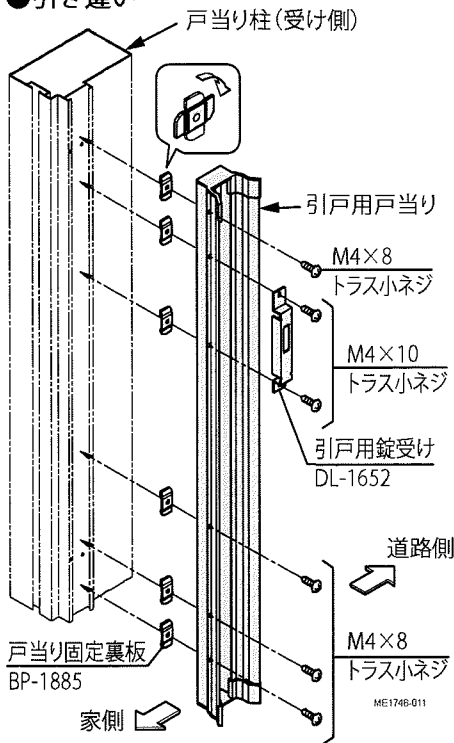


- 取付ビスの区別に注意してください。
- 錠受け→M4×10 トラス小ネジ (錠受けに同梱)
- 戸当り→M4×8 トラス小ネジ (引戸本体の戸当り部品セットに同梱)

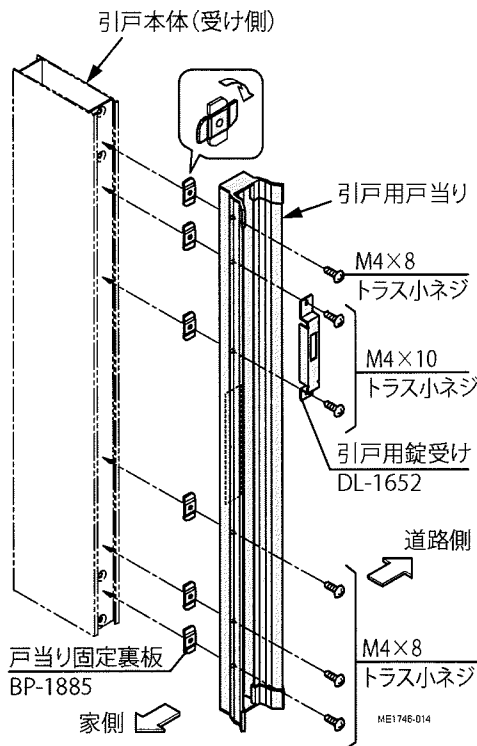


- 開き戸付きの場合は、錠受けを2つ取付けてください。(下部は錠の操作には使用しません。)
- 開き戸用錠受けの切欠きを家側にしてください。

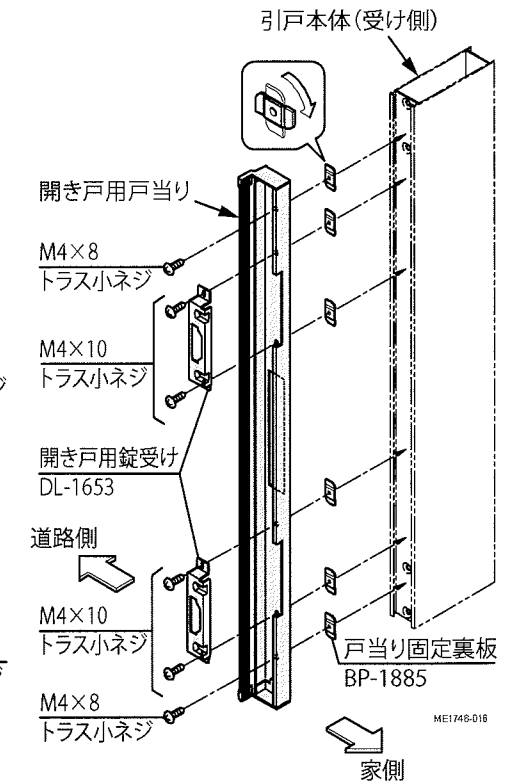
- 片引き
- 引き違い



- 両引き



- 開き戸付き



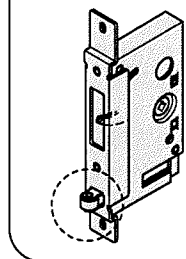
1-2 錠ケースの取付け



掛け側となる引戸または開き戸に、錠ケースを取付けます。

①錠ケースを掛け側に取付けてください。

※開き戸用の場合



引戸または開き戸 (掛け側)

錠ケース

引戸用 : DL-1650

開き戸用 : DL-1651

φ4×10 トラス タッピン3種

ME1746-010

錠の取付け

1-3 ハンドルの取付け

掛け側の手順

- ①内部側ハンドルと外部側ハンドルを、引戸の前後からはさみ仮組みしてください。
- ②サムターンを横に倒し、施錠の操作が正常に行えるか確認してください。
- ③サムターンを横に倒したままハンドルをビス止めしてください。

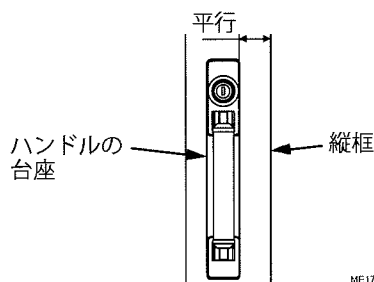
受け側の手順

- ①内部側固定ハンドルと外部側固定ハンドルを前後からはさんで取付けてください。

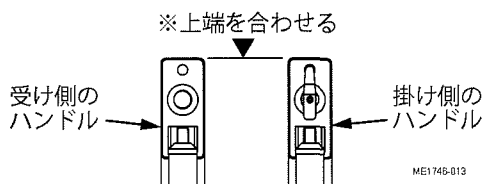
施工のポイント



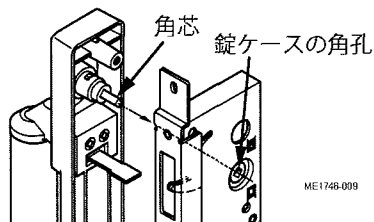
ハンドルの台座が縦框に対してまっすぐ平行になるように取付けてください。



掛け側と受け側で、ハンドルの上端を合わせてください。



外部側ハンドルの角芯を、錠ケースの角孔に確実に差し込んでください。



施工後の確認

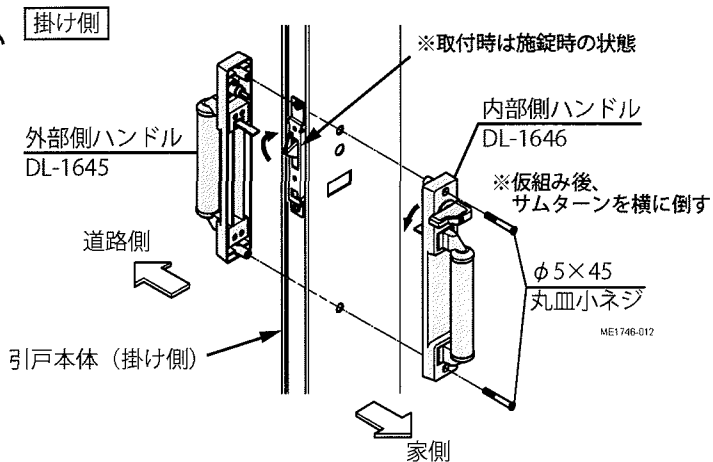


- サムターンの動作がスムーズであるか確認してください。
 - ハンドルレバーの操作がスムーズであるか確認してください。
- ※動作がかたい場合は、錠ケースの取付位置を微調整してください。

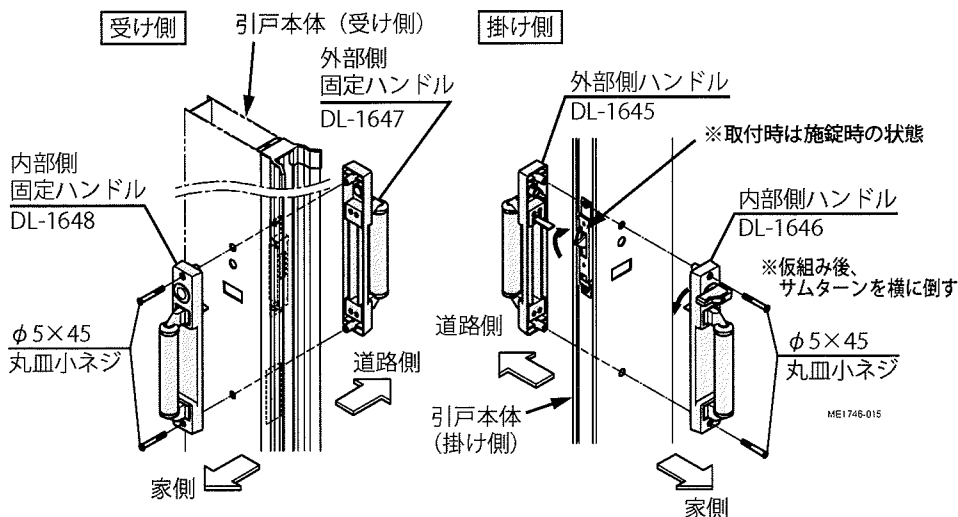


- 掛け側は、必ず開錠時の状態（サムターンが縦向き）でハンドルを仮組みしてください。
- 仮組み後、サムターンを横に倒し、錠の操作が正常であるか確認してください。
- 確認後、施錠時の状態（サムターンが横向き）でハンドルをビス止めしてください。

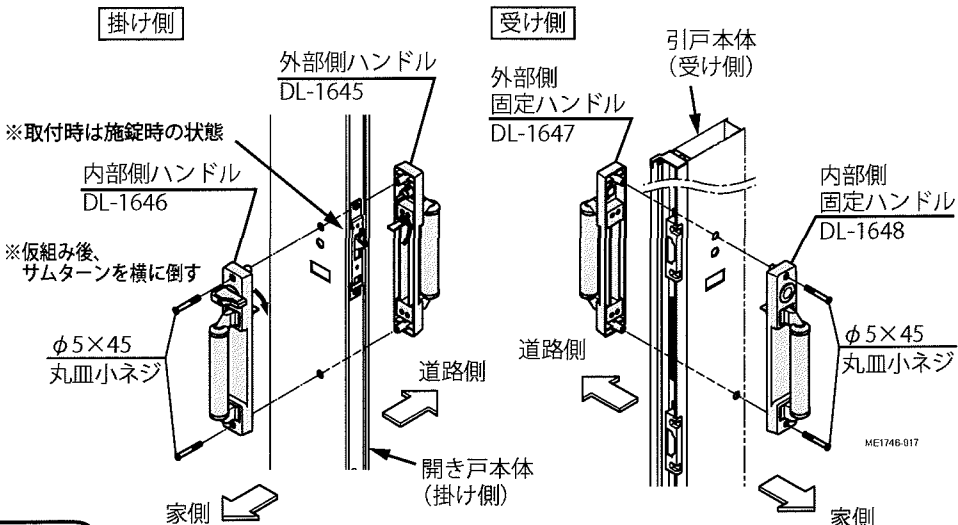
- 片引き
- 引き違い



- 両引き



- 開き戸付



■施工代理店様、販売店様へのお願ひ

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。